

平成 22 年 9 月 30 日

特別公開展示「アルディの全身化石骨」展のご案内

昨年の 10 月 2 日、440 万年前のアルディピテクス・ラミダス（ラミダス猿人）の全体像が科学誌サイエンスに発表されました。アウストラロピテクスに先行する、それまでほとんど未知だった人類進化段階について、初めて多くが解き明かされました。その中心的な化石骨が、「アルディ」の名で知られる部分骨格標本です。

このたびは、エチオピア国立博物館における初公開に次ぎ、エチオピア国外で初めて、「アルディ」の全身骨（レプリカ）が公開展示されます。

つきましては、本件につきまして公開展示の記事掲載を是非お願いいたしたく、ご案内申し上げます。

特別公開展示「アルディの全身化石骨」展

場 所：東京大学総合研究博物館（1 階）（本郷キャンパス内）（文京区本郷 7-3-1）

<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/information/map.html>

期 間：2010 年 10 月 1 日（金）から 10 月 30 日（土）

開館時間：10：00～17：00（入館は 16：30 まで）

休館日：月曜日（ただし、10/11 は開館）10/12

参加費：無料

特別公開展示ホームページ：

<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/exhibition/2010Ardi.html>

展示標本：

1) 「アルディ」の全身骨（レプリカ）

エチオピア、アファール地溝帯のアラミスで発見された、アルディピテクス・ラミダスの部分骨格標本（440 万年前）。主要四肢骨と手足の多くの部位と復元可能な骨盤と頭骨が保存されている。

2) 「アルディ」の復元頭骨（マイクロCT解析による）

破損した頭骨化石をマイクロCT装置でデジタルデータ化し、60 以上のバーチャルな骨片を切り出し、それぞれの位置関係を調整し、復元頭骨を作成した。チンパンジーとアウストラロピテクスの頭骨（レプリカ）と共に展示。

3) 解説パネル 6 枚。

関連イベント：

公開ギャラリーセミナー「ラミダスを語る」

10月29日（金）16:30 から 18:00 まで。

ラミダスの研究に直接携わった、諏訪 元（すわ げん）教授が、来館された方々に会場でお話し、疑問・質問に回答します。

ラミダスに関する、関連情報：

<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/exhibition/2009Ramidus.html>

<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/mobilemuseum/MM028ET-ETHIOPIA.html>

東京大学総合研究博物館のHP：

<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/>

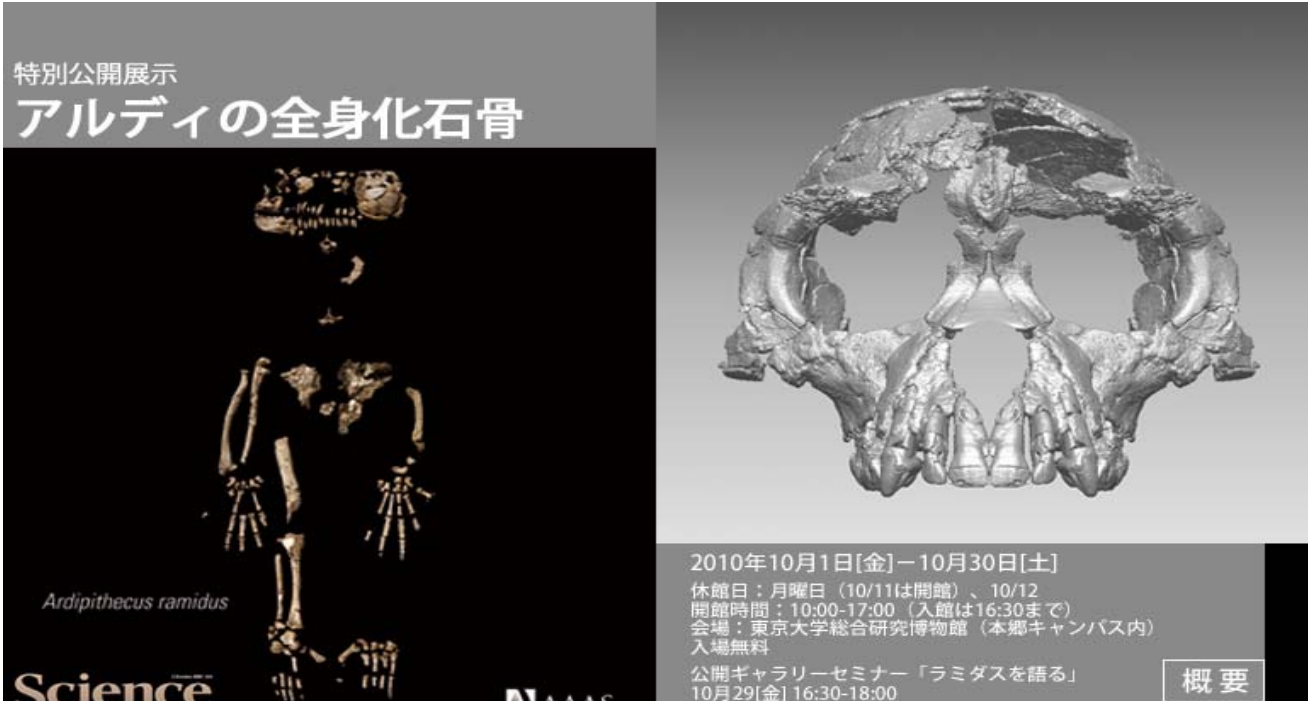
<本件に関する連絡先>

東京大学総合研究博物館

教授 諏訪 元

<取材に関する連絡先>

東京大学研究推進部博物館事業課



特別公開展示
アルディの全身化石骨

Ardipithecus ramidus

Science AAAS

2010年10月1日[金]－10月30日[土]
休館日：月曜日（10/11は開館）、10/12
開館時間：10:00-17:00（入館は16:30まで）
会場：東京大学総合研究博物館（本郷キャンパス内）
入場無料
公開ギャラリーセミナー「ラミダスを語る」
10月29[金] 16:30-18:00

概要